

第5回 議会報告懇談会 を開催!



平成27年度の議会報告懇談会が4月22日若佐コミュニティセンター及び佐呂間町市民センターで開催されました。
参加された皆様から議会及び行政全般に対して、貴重な意見・要望・提言をいただきましたので、その質問と回答をお知らせいたします。

問 疑 心 答

☆総務福祉常任委員会に関すること☆

①肺炎球菌予防接種助成について

Q 肺炎の予防接種があると聞きましたが、その費用もインフルエンザ、任意予防接種費用助成に入っているのですか。

A 肺炎球菌への助成はありません。定期接種の場合は、クリニックさるまに直接申し込み、個人負担額は4125円を窓口で支払います。

任意接種の場合は、65歳以上で定期接種対象者以外の方が、希望する医療機関で受けられます。助成は5000円を上限とし、費用の2分の1ですが、一度は窓口で全額支払い、役場へ申請手続きを行うこととなります。

②防災対策（防災訓練・要援護者対応など）について

Q 地区自治会で災害時の対策として避難することを考えていたが、自治会長会議のとき町長の話の中で、オホーツク海沿岸等地震が起きても大きな津波の発生がなく50〜60センチ程度との研究機関の

見解である旨の発言があったが、津波警報が出たらいち早く避難してほしい旨の話もあり、地区では困惑している。町長の発言の根拠がどこにあるのか、住民が不安をもってのだからハザードマップにもなって総合的に対応すべきではないか。

A 防災研究所の報告だと思えますが、この地域は地震等が少ない地域ですが、自然災害ですら若佐の竜巻のように100%ないとはいえないし、避難意識、防災意識の醸成は必要であり意識付けは大変な活動です。

漁民センターからの近道については、自治会から地権者にまず話をして了解願ひ、寄附していただけるのか、町が買い上げるのか協議するべきで、町からこの件を持ち出せないで、自治会で話をまと

めてほしいということですが。詳細については、自治会の考え方と町の見解に相違があります。

Q 自治会と机上訓練、シミュレーションから実施することでしたが、実施されたのか。

A 仁倉地域で避難訓練を実施した。要援護者、自分で来れない人を決めて、想定した実避難訓練を実施しています。

③支所出張所等への町予算書配置について

Q 3月の予算議会が終わった後、せめて図書館、若佐・浜佐呂間両コミセンに予算書を置いてほしい。「まちのしごと」が配布されていますが、総額で出ているのでわかりづらいのです。図書館ではリクエストしたところすぐに置いてくれました。

A (総務福祉常任委員長から総務課へ要請する。) ※総務課からの回答
ダイジェスト版で備え付けはしております。予算書及び決算書については今後検討いたします。

Q 個人情報保護法により要介護者、高齢者等の情報が消防団にもないため、防災活動を行うのに支障がある。非常時、訓練時にどう活動するのかわからない。

A 民生委員、自治会長、消防団関係の共有した活動と情報管理について、消防で管理し、非常時は情報開示で対処できるように自治会長会議なり民生委員会、消防に改善できるものは早急に改めるよう話をしていきたい。

※総務課からの回答
災害時要援護者支援制度に同意・登録がなされた方については、災害時個人情報を自治会、民生委員、警察、消防

Q 今9人でやっているわけで、何か議会活動に差しさわりがありませんか。

A 今、2常任委員会があり

④議員定数、報酬について

Q 議員の歳費は、報酬のほかに交通費か何かは出るのですか。

A 交通費が出る人は4キロメートル以上の方です。

Q 委員会ってどうしても必要なの？今1名欠員で9名、議長のほか8名で一緒にやっただほうがいいような気がするのですが。

A 議会制度の中で公平性を保つ、議会の決定事項に間違いがあったら困るということもありです。

定数・報酬の問題については、次の選挙に向けて、議会に関心を持って見てくれるように話し合っていきたいと思



議会開会中の議場の様子

⑤議員のなり手、後継者対応について

Q 統一地方選挙も議会に魅力がないのか、町村長も含め、町村議会議員選挙の無競争が多くみられる。歳費を切り詰めれば町の財政が豊かになると勘違いした面があって、この議会も議員の歳費をかなり減額しているように思う。若い人が出れる、出やすいためには、ある程度生活が成り立つよう議員定数を見直し、減分を歳費に上乘せする方法で考えてはどうか。

A 議員の高齢化については、重々議会としても感じているところです。

議員歳費の見直しについては、議員を削減した中で歳費を振り分けることについては、意見として受け止め、定数問題につきましても適正な定数について議論されるもので、佐呂間町議会については先行しての定数削減を行って現在の10議席となっており、改選期までの間、議論されていくものと思います。

来年(平成28年)町長選挙のとき、議員補欠選挙もありますので、結果を受け議論されるものと思います。

⑥消防団員の報酬等について

Q 消防団員の報酬を交付税の算定額で団員に支給するようにはできないのか。

A 佐呂間町においては、交付税の全額を手当の中で支払っているが、町村によっては異なる場合もある。支給額については、団員や役職の間で調整されており、総体の額では全額支給されているものと判断しています。

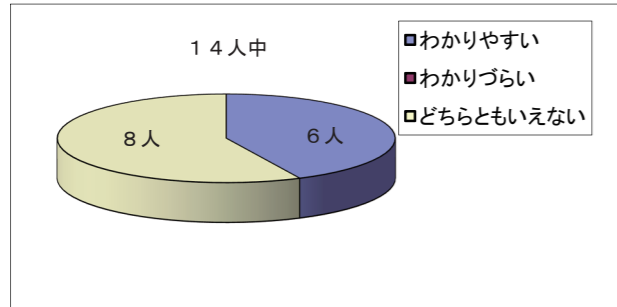
交付税額	1523万4千円
報償費他	1529万6千円
団員数	定数 130名
実団員数	110名



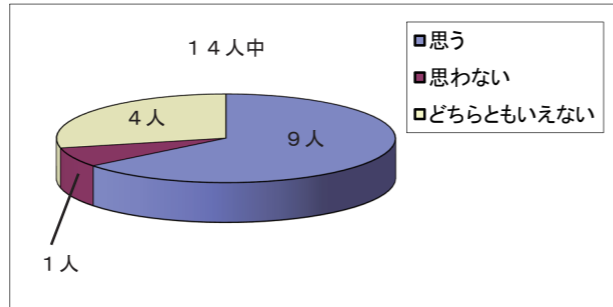
年初めに行われる出初め式

報告懇談会アンケート結果

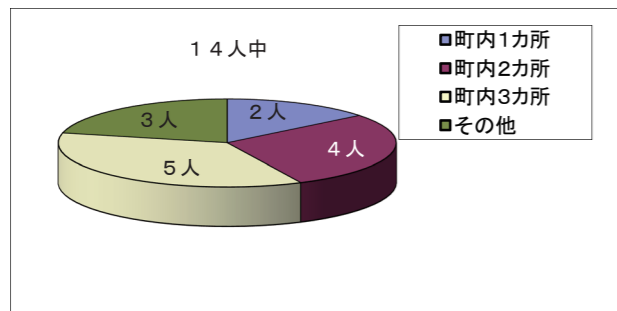
議会報告懇談会の説明はどうか



議会報告懇談会を今後も開催すべきか



開催箇所は何カ所が適当か



今回の報告会でいただいた質問・意見・提言と答弁を取りまとめて記載しました。なお、これらの内容は但木議会運営委員長から町長へ提出しております。

また、当日アンケート調査を実施し、皆様より貴重なご意見をいただきました。皆様のご協力で心よりお礼申し上げます。

・・・自由意見・提言等・・・

- 開かれた議会、活発な議論を期待しています。
- 議会活性化策について ～ 首長、議会選挙について、近年（直近）無投票になるなど地方自治の後退が言われております。本町の行政・自治に対する住民の関心を深める方策はいかがか。例えば町民会議の設置等々
- 地方創成のプロジェクトはいかがですか？ ～ 26年地方創成補正に盛り込まれた基本交付金その対応
- もっと人数が集まるように、関心のある報告会に
- 聞きたいことが、聞けるので今回のように聞いてもらいたい。
- 初めての出席でしたが、直接色々な事を聞くことが出来ました。小さな部屋で開いてもらった方が良かったです。
- 資料づくりから職員が関与するのではなく、全て議員でやるべき。
- 報酬の話が出た時、資料に報酬金額が掲載されているのにも関わらず誰も資料さえ使わなかった。職員に全て作ってもらい、何でもしてもらっているのがわかる。
- 予算のことは、報告懇談会で話さなくてもいいこと。行政で説明（町長の行政報告も）していることだし、いらなと思う。
- 以前に比べたら資料もわかりやすくなったし、話をしようという姿勢は良くなったが、こんな質問をしたらこういうふうに改善されたとかの報告や委員会でのこんな質問が出て、こんな回答でこうなっているとかが、本来の報告会では。
- もっと議員だけで考えて、工夫し、動けるようになるべきでは。
- 言っても無駄なんだなと思えるような回答が多く、がっかり。
- 何を報告したいのか。予算を報告して何になるのか。もっと議員がアイデアを出して自分たちで考えてはどうでしょうか。
- 今後の活躍を期待しています。
- いろいろな情報がありますね。また参加します。
- 町民の出席があまりにも少ない。主催者の工夫も必要と思う。

⑦産業廃棄物処理施設の受入について

町広報にも出ていますが、農家の産業ゴミ、一般のゴミの分別については、今までと同じだが、今度からは遠軽へ運んで行くことになるのか。今までどおり知来で引き受けてもらえるのか。

A 農産物の産業廃棄物（ビール製品等）については、農協が主体になり回収して廃棄場へ搬送することとなり、一般の方々のビール等については、従来どおり知来の処理場にて受け入れたいと思います。その他の一般ゴミ等もこれまでと同じです。

⑧議会会派について

議員定数が10名になったときに、会派を作らず全員での議論をしながらうまく折り合いをつけてやっていきたいと思います。会派を作ることでは弊害はないのでしょうか。

会派を作るまでの経緯と目的、また1年半経過してどう変わったか伺います。

A 個人的な意見ですが、自分の意見が汲んでもらえないという時もあり、自分の政策と合わない人と考え方を一つ



佐呂間簡水浄水場

にするのは議員の目的ではないと思っています。会派の人数で物事が決まるのではなく、あくまでも全員の意見を尊重して審議をして

⑨簡易水道事業について

若佐簡水の区域拡張工事の件で以前にも要望が出ていたのですが、佐呂間簡水の取水池と朝富も一緒にしているが、それぞれの施設が老朽化しており、できればひとつの大きな取水池にして1カ所で浄水できれば、建設コスト

はかかるが維持・管理面でもコスト削減につながると思います。それも含め総合的に水道事業を見直す計画はないのですか。

☆産業文教常任委員会に関すること☆

A 今のところ、そのような計画を予定しているとは聞いていませんが、将来的に計画を立てている部分もあろうかと思っております。建設課水道係に確認し、議会広報を通してお知らせするとともに、そういう計画を議会も共有し検討していきたいと思っております。

⑩若里基線道路整備事業の見通しについて

今年の若里基線道路360メートル整備は、昨年

現状の水源（水量）を考慮しながら、効率的な水道事業を進めていきます。

⑪地域医療再編整備事業（クリニックさるま）について

平成27年度の町立診療所の主な工事の予算について詳しく教えてください。

クリニック新築工事に6億274万1千円、外構工事778万7千円、道路改良工事2200万円、委託料748万円、備品購入1443万3千円、医療機器購入1億3860万4千円。合計で7億9304万5千円です。

の延長なのか。それとも、奥のほうから続きでやってくれるのでしょうか。

A 後で、建設課のほうに確認します。

※建設課からの回答
全長1800メートルのうち、25年度からの工事で約

☆町立診療所特別委員会に関すること☆

委員会のあり方・運営費（税金など）

運営委員会とはどんなことをするのですか。

A 住民のための病院ということで、今後は運営委員会の中で利用者の声を反映させていけるのではと思っております。

クリニックさるまの運営負担金額の上限はどのくらいまでと考えているのか。

A できるだけ、この経費は節減するように理事者側に特別委員会として申し入れておきます。

⑫クリニックさるまの運営について（運営委員会・町立診療所に関する特別

議会ニュース

議会ニュース

- ・ 常任委員会現地調査②
- ・ 傍聴者からの声

- ・ 常任委員会現地調査①



若里基線道路

若里基線道路については、平成25年度から改良舗装工事が実施され、現在、総延長1800メートルの内、約500メートルが完了となっていますが、この事業は国の交付金削減に伴い、計画通りに事業が進展できない状況になっており、本年度も大幅な減額となったことから、町単独でも実施することとし、補助と単独を合せ100メートル程度の改良舗装工事が予定されているところです。

現状では、完了までに長期間を要することから、有利な財源の確保を図るとともに、適切な財政運営にも配慮しながら早期完成を願うものであります。



お色直ししピカピカになった交通公園のSL

交通公園については、廃止となった湧網線の資料、設備

5月26日総務福祉常任委員会終了後、現地調査を実施しました。

総務福祉常任委員会

現地調査箇所

- ・ 交通公園
- ・ 産業廃棄物最終処分場及び一般廃棄物最終処分場

常任委員会で
混雑請負を実施

を展示・保存する施設として整備されましたが、設置から25年が経過し、展示物の腐食や塗装のはがれなどの劣化が生じていることから、塗装及び補修を行ったものであります。

交通公園は、資料や設備の展示とともに、町民の憩いの場としても利用されていますので、今後とも適切な維持管理を望むものであります。

7月7日札幌市で開催された北海道町村議会議員研修会に本町から8名の議員が参加しました。

この研修会では、中央大学名誉教授の今村都南雄氏が「地方議会を取り巻く最近の動向」、続いてテレビ朝日コメンテーター川村晃司氏が「これからの政局・政治動向」との演題で講演され、特に政局の話については、過去の首相などへの取材に基づくエピソード等に、参加者は興味深く聞き入っております。



全道議員研修会 に参加!

傍聴者からの声

6月定例会傍聴は2回目ですが、傍聴者は普段から少ないのでしょうか。

6月11日の定例会では、議員による一般質問を傍聴、「地域おこし協力隊」や「核のゴミ説明会への参加報道」など気になる案件。

佐呂間町が、核のゴミ説明会に参加した事には驚きました。情報収集のためとはいえ、「参加」の意思と受け取られかねない行動はいかがかと思いましたが、今後説明会へは不参加・核のゴミ受入無しとの回答にひと安心。しかし、その説明が長く、その他の質問は私の時間切れで聴けずじまい。マイナンバー制度に対して不信・不安があるので、町の考えを聞きだかったのですが残念です。

次回も傍聴したいと思っておりますが、今後期待したいことは、現在国会審議中の「平和安全法制」について「違憲である」との声で各地より「反対意見書」が提出されています。佐呂間町は、「特定秘密

保護法」「集団的自衛権」の反対意見書を提出していますので、「平和安全法制」も反対意見書提出について審議していただきたいと思います。

議会への提案ですが、仕事や子育て、交通手段がないなどで傍聴に行けない町民のために、町議会の様子を「国会インターネット審議中継」のように、パソコンやスマートフォンなどでリアルタイムやアーカイブで聞けるようインターネット配信を希望します。

また、議案書や資料には発言者がどこを読んでいるのかわかるよう、見つけやすい工夫をお願いいたします。



産業廃棄物及び一般廃棄物最終処分場については、昨年度、産業廃棄物最終処分場が14・2年、一般廃棄物最終処分場が5・1年という残余年数が出され、牧草ロールのラップなどの廃プラスチックや木くずの処分を行っておりました産業廃棄物最終処分場は、本年度より当分の間受け入れを休止し、今後は一般廃棄物のみの処分を行う計画がなされています。

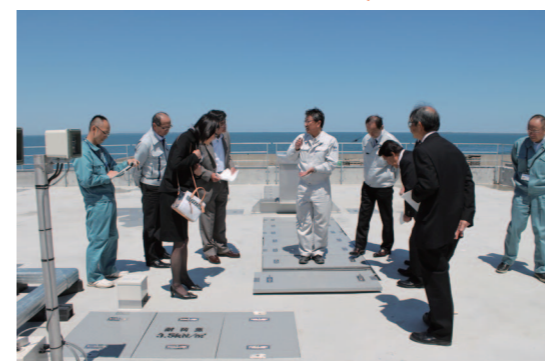
現在、遠軽地区広域組合において、ごみ焼却施設が建

5月27日産業文教常任委員会終了後、現地調査を実施しました。

産業文教常任委員会

現地調査箇所

- ・ 佐呂間漁業協同組合排水処理施設
- ・ 若里基線道路



佐呂間漁協の排水処理施設

設中であり、稼働後はプラスチック製品なども焼却できることから、本町での一般廃棄物処分量は減ることが予想されますが、今後とも継続してごみの減量化、現有施設の延命化、適切な維持管理を望むものであります。

佐呂間漁業協同組合の加工場排水については、サロマ湖の環境負荷を軽減すべく、従来より取り組んでいます。既存排水処理施設の老朽化や加工処理量の増加などにより、排水処理能力が不足していたため、国及び町の補助を受け、新たに処理施設が建設されました。

新しい施設については、現地調査を行った時点では、ホタテの加工施設が本操業していないことから、本格的な処理状況になっていませんでしたが、サロマ湖の環境負荷の軽減、水産加工品の安定的供給が図られるものと期待しております。